

第111期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

- 本書では、視認性、判読性に優れた
ユニバーサルデザインフォントを使用しています。



ちびまる子ちゃん

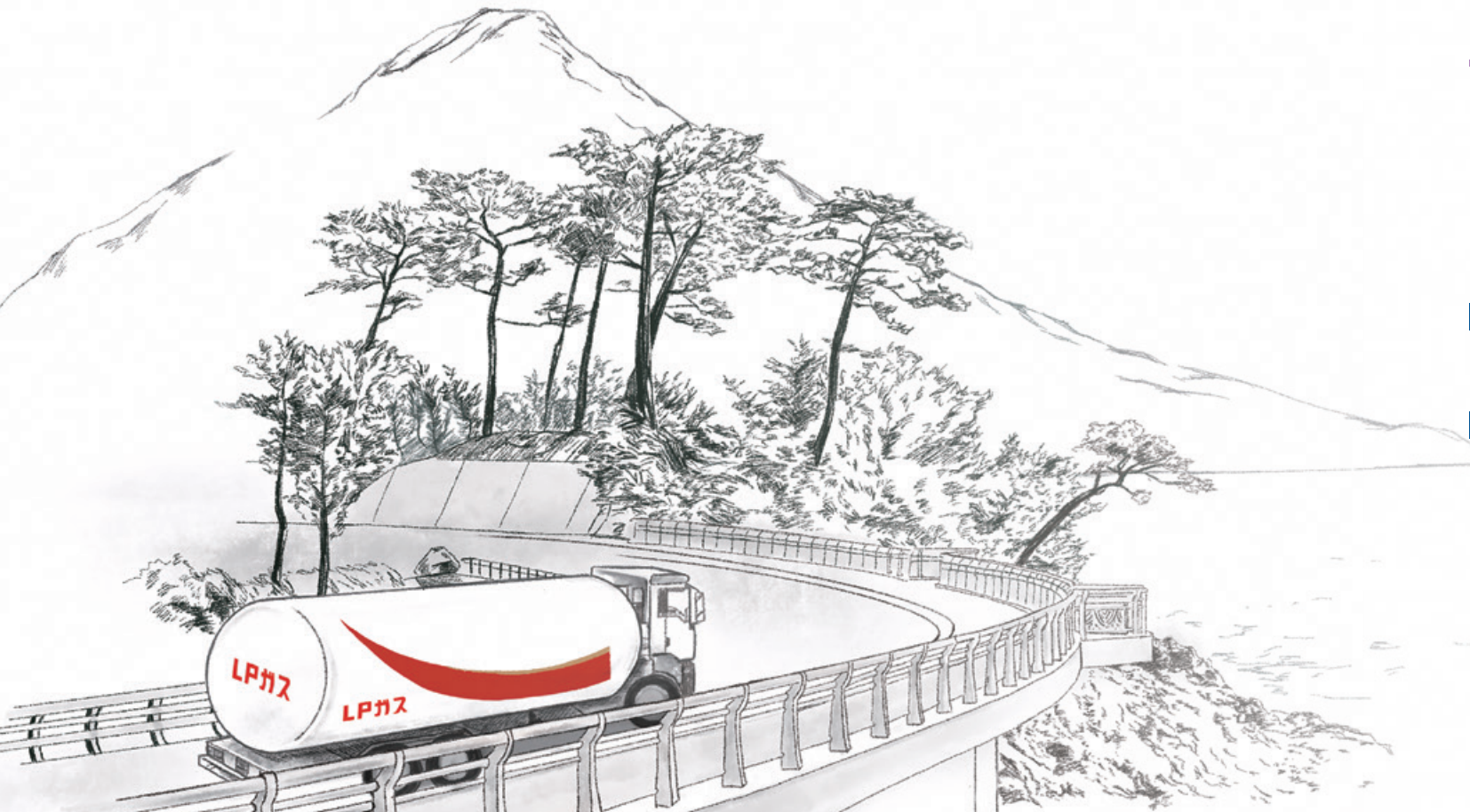
©さくらプロダクション/日本アニメーション

「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中！



感動を、次々と。

Every Day, Special!



ミツウロコグループの事業領域

エネルギー事業

LPガスを中心に、石油製品、住宅設備機器、通信サービス“ミツウロコ光”、太陽光発電システムなどのインフラ事業を展開しています。

電力事業

風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、地球環境改善・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。

フーズ事業

清涼飲料水の製造・販売、施設内販売及びカフェテリア、バーガーレストランチェーン、ポランタリーチェーンストア、スクラッチペーカリー・カフェの運営等を手掛けています。

リビング&ウェルネス事業

オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸、リビング&ウェルネスをテーマとした商業施設の運営を行っております。

その他事業

事務用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業などを行っております。

DATAで見るミツウロコグループ

売上高	従業員数	再生可能エネルギー発電量／年間
2,401億円 第111期連結 2019年4月1日～2020年3月31日	1,549名 2020年3月末	2億5千万kWh
経常利益	エネルギー事業店舗数	LPガス供給軒数
82億円 第111期連結 2019年4月1日～2020年3月31日	77店舗 2020年3月末	約80万軒 2020年3月末
設 立	フーズ事業店舗数	
1926年(創業1886年)	253店舗 2020年3月末	



持続可能なエネルギーサプライチェーンの構築と地域に密着した安全で安心なサービスの拡充に努めてまいります

代表取締役社長 グループCEO
田島 晃平

当連結会計年度における我が国の経済情勢は、企業収益、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移していましたが、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速等の影響に加え、新型コロナウイルス蔓延による世界経済の停滞等、景気を下押しするリスクが存在し、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境においては、電力・ガスの自由化以降、異業種からの活発な新規参入やお客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた料金メニュー・サービスの提供等を通じて消費者の利便性が向上するなど、活発な競争が進展しております。

また、昨今の災害への対応とレジリエンス強化に向けて、

自衛能力も含めた供給インフラの強靱化や、早期復旧のための事業者との連携強化、情報発信の強化など、災害時のエネルギー安定供給を確保するため、更なる体制構築が必要とされています。

このような状況下、当社は、アジア市場でのLPガス・エネルギー事業へ参入すべく、2019年6月に、アジアにおける大手LPガス会社であるサイアムガス&ペトロケミカルズと戦略的業務提携契約を締結しました。当社グループはアジア市場でのLPガス・エネルギー事業に関する取り組みを拡大し、アジア地域の消費者へ高い品質の製品及びサービスを提供することで、アジアの発展に貢献し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

国内におけるエネルギー事業については、引き続き堅実な事業基盤のもと、地域に根差したグループの総合力を活かし、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行っております。また、地域の安定供給を担う主体として、平時有事を問わず、あらゆる状況変化の中でも持続可能なエネルギーサプライチェーンの構築と地域に密着した安全で安心なサービスの拡充に努め、お客様に新たな価値を提供してまいります。

当連結会計年度は、電力事業の拡大等により、売上高は前期比4.7%増の2,401億27百万円となるとともに、電力仕入調達価格が安定したこと等により、営業利益は前期比98.8%増の72億14百万円、経常利益は前期比83.3%増の82億62百万円と大幅な増益になりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、新型コロナウイルスの影響を踏まえて、株式会社スイートスタイルにかかるのれんの減損損失を計上しましたが、前期比9.7%増の35億46百万円と増益になりました。売上高、営業利益、経常利益については、過去最高益を更新しております。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、当社グループは本社を基点に全国各地域において、安全・健康を第一に、全従業員が共通認識のもと、今後も、お客様に対するサービスの継続や保安の確保、地域のエネルギーライフラインの維持に最大限に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービスを中心に豊かにくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フーズ事業」、「リビング&ウェルネス事業」、事務機器などのリースや業務サポート、保険の取り扱いを行う「その他事業」を展開しております。

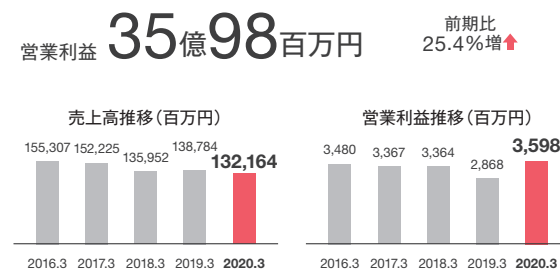
※当期より、従来「フード&プロビジョンズ事業」及び「PM／健康・スポーツ事業」としていた事業セグメントの名称を、「フーズ事業」及び「リビング&ウェルネス事業」に変更しております。



エネルギー事業

当期のポイント

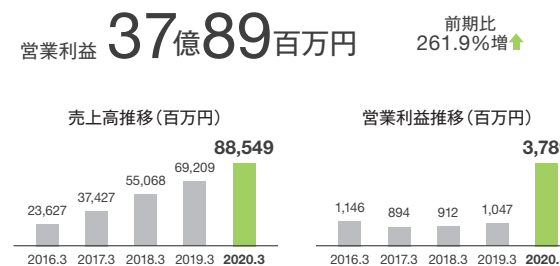
- 家庭用需要の獲得強化及び既存顧客との接点強化に努めたものの記録的暖冬の影響により小売販売量が減少。
- 燃料価格の下落による売上原価の減少や経費の削減により、営業利益は前期比増加。



電力事業

当期のポイント

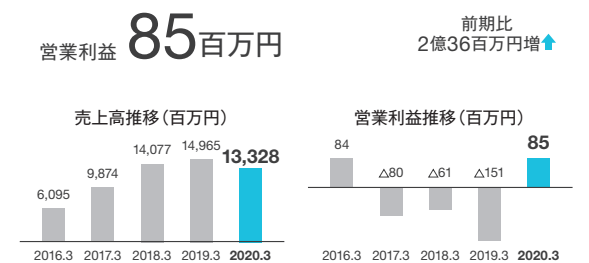
- 法人・一般家庭向けの販売展開により、電力販売量は堅調に伸長し、増収増益。



フーズ事業

当期のポイント

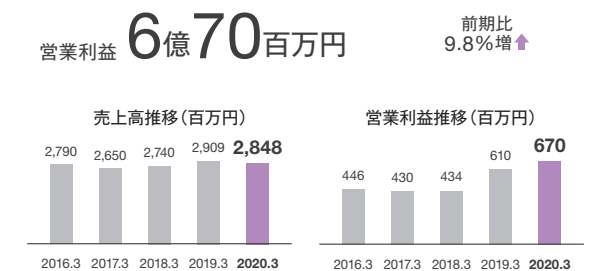
- 飲料水事業が販路拡大により好調に推移するとともに、グローサリー事業における不採算店舗の整理等により収益改善を図ったことで、黒字化となった。



リビング&ウェルネス事業

当期のポイント

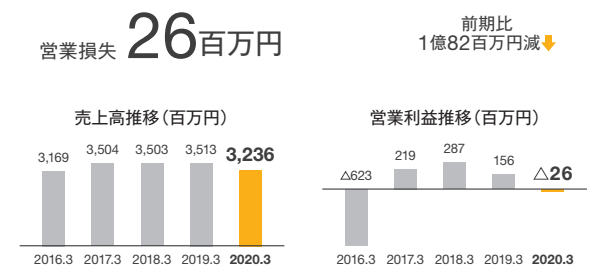
- ウェルネス事業では、各種キャンペーンの開催やおもてなし品質向上に努めた結果、売上高は前期比減少したものの、営業利益は前期比増加。
- 不動産事業では、マーケット調査に基づき適宜賃料改定を行い収入増を図るとともに、PMBMフィーのコスト削減、賃貸方式の変更により、収益力の向上を図る。

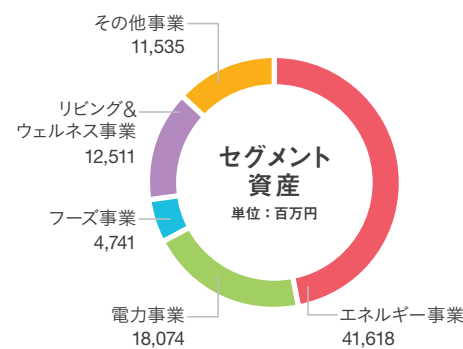
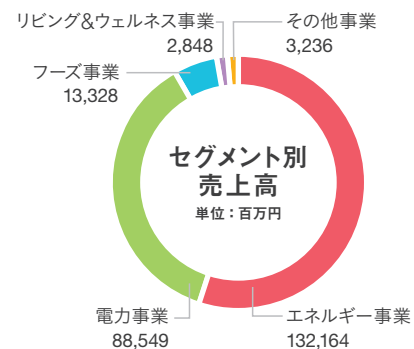
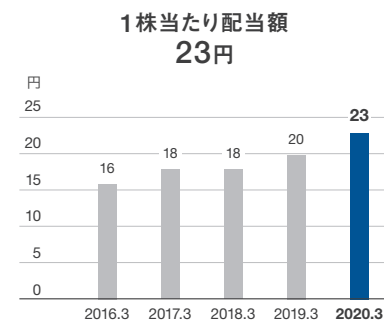
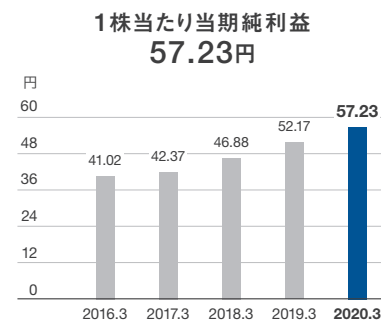
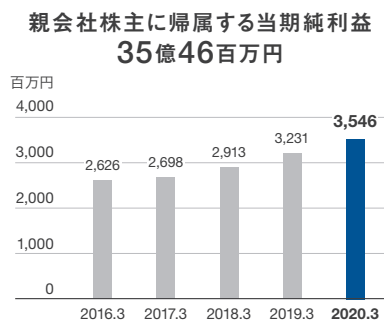


その他事業

当期のポイント

- LPガス販売管理システム「COSMOSシリーズ」の拡販を行っているが、リース事業における取扱高の減少等により減収。
- リース事業において新型コロナウイルスの影響により貸倒引当金を計上したことを主因として減益。
- サイアムガス社に対する投資を通じて、当期より海外事業を開始。





「災害時における物資の供給協力に関する協定書」締結

当社連結子会社である株式会社ミツウロコエナジーフォースは、2020年3月5日、千葉県野田市と、キャンピングカーの無償貸出を中心とする「災害時における物資の供給協力に関する協定書」を締結いたしました。

昨今の災害リスクの高まりから、災害への備えの重要性が増す中、衣食住を一台で賄えるキャンピングカーを災害時に提供させていただくことで、地域の災害対策の一助となれればと考えております。引き続き、野田市との協議を重ね、地域の特性に合った、より有効な活用方法を見出していまいります。



野田市庁舎での調印式
左：鈴木市長 右：ミツウロコエナジーフォース川上社長（2020年3月5日）

ちびまる子ちゃんのテレビCM10年目

2011年に放映を開始したミツウロコとちびまる子ちゃんのテレビCMが、今年で10年目をむかえました。テレビCMでしか見ることのできないキャラクターの「ミツウロコちゃん」も登場し、今では「ちびまる子ちゃんのテレビCMでミツウロコを覚えた」という方もいらっしゃるほどです。

これからも、ちびまる子ちゃんとともに、皆様に愛される会社を目指します。

テレビCMギャラリーサイトを開設しました。
「ミツウロコちゃん」の紹介もごさいます。是非ご覧ください。
🌐 <https://www.mitsuuroko.com/cmgallery/>



©さくらプロダクション／日本アニメーション

家庭用エネルギーを 安心・安全にお届けする 「エネルギー事業」

ミツウロコグループの「エネルギー事業」

ミツウロコグループのエネルギー事業は、LPガス、石油、電力の小売全面自由化以降に販売を伸ばしている電気の3つを主力としています。これに加えて、ミツウロコの創立当時から続く練炭・豆炭と、最近、小売全面自由化された都市ガスを扱っています。このうち電気については、ミツウロコグリーンエネルギーが電力の需給と高圧電力を中心に販売を行っていますので、ミツウロコヴェッセルではミツウロコグリーンエネルギーと連携しながら一般のお客様向けの低圧電力を中心に販売を行っています。

小売の自由化が進むなどして、各エネルギー間の垣根が取り払われLPガス・電気・都市ガスとすべてを取り扱える時代になりました。環境変化の速い時代ということもあり、家庭用エネルギーは地域の特性に沿った迅速な対応が必要となります。当社では北海道、東北、山梨、中部、関西地域にそれぞれ地域会社を設立するとともに、関東地域は北関東、東関東、南関東の3支店体制をとることで、ミツウロコヴェッセルグループとして一貫性を持たせながら、各地域会社・各支店においては、それぞれ自主的な取り組みと意思決定を

株式会社ミツウロコヴェッセル
代表取締役社長 坂西 学

行っています。この体制を維持するためには、各現場で適切に判断できる人材が不可欠ですので、人材の育成にも注力してまいります。

安全・保安を大切にし、安定供給の責任を果たす

家庭用エネルギーというライフラインを支えているということを深く認識していますので、保安の確保の重要性、日々安全に活動を行えることが大切だと感じています。同時に、安定供給を担保するための物流体制の整備・構築も不可欠と実感しています。当社グループは各地で様々な活動を行っていますが、すべて安全・保安が確保されているからこそ、安心して取り組んでいると考えています。この基本は、今後も忠実に遂行していきます。

今期から「SmartOWL／LPWA[※]」を活用した自動検針を本格的に導入しました。これにより今後の労働力不足に対応し、将来的には物流の効率化につなげていきたいと考えています。また、近年発生している大型台風や集中豪雨を踏まえて、自社関連充填所からシリンダーの流出防止策を講じています。水害ハザードマップを参考に、危険性が高い地域から優先的に現在順次施工中です。その他、首都直下型地震の発生時には本社機能に移転、指揮する計画など、ライフラインの一翼を担うものとして災害への対応もしっかり取り組んでいきます。

そして、現在発生している新型コロナウイルスへの対策については、公共機関を利用する社員は在宅勤務体制へ移

行しておりますが、一方で各拠点では、どのような状況下でも法令に基づいた必要な保安の確保ができる体制をとれるよう整備を行っています。各エネルギー商材と関連サービスをお客様にお届けすべく、訪問による営業が困難な場合は、接点の手段を工夫し、お客様に安心していただける方法で実施していきます。

家庭用エネルギーで選ばれ続ける ミツウロコブランドを目指す

当社グループでは、ミツウロコの創立当時の練炭・豆炭から灯油・LPガス、そして電気・都市ガスへと市場環境の変化とともに取り扱うエネルギーを拡げてきましたが、今後もこの流れを継続していきたいと思います。LPガスなどで培われてきた知見を活かして、お客様にミツウロコブランドを選んでいただけるような方策を追求していきます。同時に家庭用エネルギーと相乗効果があり、お客様に喜んでいただける商材やサービスの開拓も進めていきます。これからもエネルギー事業を当社グループの太い柱として成長させるべく、家庭用エネルギーが自由化された環境を前向きに捉え、課題に挑戦することで事業の拡大を達成していきたいと考えています。

皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

※「SmartOWL／LPWA」：無線通信技術を利用したLPガスメーターの日次自動検針とその検針データを活用して配送計画策定や配送ルート作成を実現するLPガス業務効率化ソリューション



株式会社ミツウロコグループホールディングス
アドミニストレーションセンター 部長
健康経営担当 竹内 亜起

「健康経営」で 高いパフォーマンスを発揮

「健康経営」が求められる社会的背景

少子高齢化や人口減少の急速な進展に伴い、昭和から平成の時代に男性が担っていた労働の主力は、女性や高齢者などへ分散し、多様な人々にとって働く機会が増えました。その社会背景の中で、従業員がどのような属性であれ、「健康」で「高いパフォーマンスを発揮」することができれば、会社の業務も円滑に遂行できるのではないかと、企業が気づき始めたのではないかと感じています。

1980年代後半には、「24時間働けますか」というキャッチコピーが流行語にもなったように、「会社にいかに関与し、重要な人物になるか」に重きが置かれた時代だったと思います。その概念が完全になくなったとは思いませんが、それだけではなく、会社で評価されることだけが人生ではないと人々が気づき始め、会社も様々な価値観を有する人がいることで効率よく業務遂行していけるということを理解した時代なのだと思います。多様性の意識の浸透とともに、若い男性だけでなく、女性であれ、高齢者であれ、身体障害者であれ、健康に働ける人は会社に貢献できるという考えや、「リア充」という言葉があるように、プライベートを充実させようという風潮が高まっています。

人は心身ともに健康な状態でなければ、満足なパフォーマンスを発揮できません。「残業なしに業務を終える」「短時間で効果を上げる」といった効率性重視の考え方が健康経営にも影響していると思います。

健康経営優良法人の「ホワイト500」に認定

2020年1月、ミツウロコグループはヘルスケアチームを廃止し、法務や総務、安全、環境、CSRに関する全グループ会社横断的な機能強化を目的としたアドミニストレーションセンターを新設し、より健康経営を展開する体制を整えました。これにより、健康経営に関する会社の考え方を健康経営担当部門が直接的に知ることができ、ヘルスケアについての要望も伝えやすくなったことは大きなメリットです。今後は様々なイベントを通じて社員への周知を図りつつ、「健康経営」については新しい取り組みであるので、健康経営担当として統括する私自身も試行錯誤をし、どのような周知方法が最も効果的か検討しながら進めています。現在は、会社が主導となって「こんなイベントをやしましょう」「これに取り組みましょう」と企画して提案することが多く、社員は受け身になっていることが多いのが現実です。そこを超えて「○○向けのイベントってできないかな」とか「こんなイベントがあるけどどう？」と社員それぞれが自分の体をメンテナンスするために積極的に健康について考えるようになって、自ら発信するようになることを目指しています。

なお、2020年4月より全面施行された健康増進法の改

正のこともあり、現在、注力しているのは、従業員への禁煙の意識改革および禁煙の実施です。

こうした活動が実を結び、ミツウロコグループホールディングスはグループ会社13社とともに、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2020 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定されました。今年度はさらに高い評価の認定が受けられるよう努めていきたいと思っています。

「健康経営」でライフワークバランスを推進

最近是在宅勤務についての理解が深まり、リモートワークが一定規模に進んだように感じます。今回の新型コロナウイルスの影響でその勢いはさらに増しています。こうした状況に対応するため、在宅勤務の制度や、時差出勤の仕組みなどを積極的に取り入れています。個人的には、社員全体の「ワーク」の生産性を高めることにより労働時間を短縮させて、より「ライフ」が充実するようにライフワークバランスを推進していけたらと考えています。

普段は当たり前だと思いがちな健康ですが、たまに体調を崩すと、自身が健康であることのありがたみを思い出します。不調時には、思考も行動も後ろ向きになってしまいがちです。体が健康でないと、心も健康ではなくなります。心が健康でなくなれば、ワークもライフもパフォーマンスが下がります。まずは自身の健康に対する意識改革を促し、ワークもライフも謳歌できるよう、そして全社員が最高のパフォーマンスを発揮することができるよう、健康経営に取り組んでまいります。

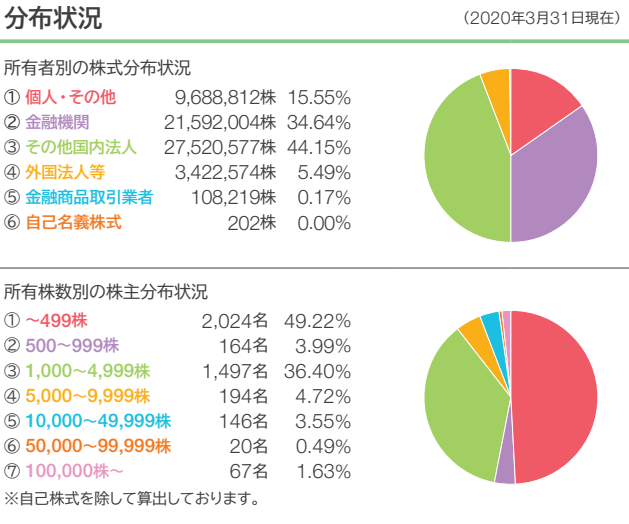
会社概要	
社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社（グループの経営戦略・経営管理）
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年（大正15年）5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	17名／連結：1,549名（2020年3月31日現在）

役 員		（2020年6月19日現在）
代表取締役社長 グループCEO		田島晃平
取締役		二見 敦
取締役 グループCFO、グループCAO		児島和洋
取締役		坂西 学
取締役		川上 順
取締役		大森基靖
取締役 グループCTO、グループCIO		ゴ ウィミン
取締役（社外）		柳澤勝久
取締役（社外）		松井 香
監査等委員である取締役（社外）		菅原英雄
監査等委員である取締役		田島 謙
監査等委員である取締役（社外）		河野義之

株式の状況		（2020年3月31日現在）
発行可能株式総数	197,735,000株	
発行済株式の総数	62,332,388株	
株主数	4,113名	

上位株主		（2020年3月31日現在）	
株主名	持株数（株）	持株比率（％）	
明治安田生命保険相互会社	5,544,000	8.89	
JXTGホールディングス株式会社	5,064,040	8.12	
田島株式会社	4,327,000	6.94	
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,681,173	5.91	
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口	3,112,300	4.99	
リンナイ株式会社	2,682,464	4.30	
橋本産業株式会社	1,926,500	3.09	
全国ミツウロコ会持株会	1,766,384	2.83	
株式会社パロマ	1,685,124	2.70	
株式会社三井住友銀行	1,676,331	2.69	

（注）1. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、2020年4月1日付で、商号を損害保険ジャパン株式会社に変更いたしました。旧社名で記載しております。
2. 当社は自己株式を202株（株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式267,900株を除く）保有しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託（BBT）に関する資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式からは除外しております（当連結会計年度末267,900株）。



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ（https://www.mitsuuroko.com/）に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先	
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	フリーダイヤル 0120-288-324（未払配当金の受領など）
ご注意	住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手續お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店、みずほ銀行	本店及び全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります。）
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手續お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手續を行っていただく必要があります。